

## ■あけましておめでとうございます！

1993年が始まりました。今年は大雪になるというちまたの予想に反して、新潟・長岡周辺は雪のないお正月を迎え、いまだに東京のような晴天の日が見られます。だけど、19歳まで長岡で育った私は、晴天が続く雪のない新潟の冬をなんとなく素直に喜べない体質になってしまっています。私たちが6年くらい前まで認識していた『新潟の冬=雪』が、今6歳になる子供たちにとっての既に常識ではないということは、なんということでしょう。新潟の冬はいったいどうなっていくのか、とにかくこれから始まる冬の本番をじっくり楽しみましょう。

とにかかにも、皆様今年もよろしく願いいたします。

## ■2月の定例会のお知らせ 『ヨセミテ公園の環境教育体験 川口米美さん』

事務局の川口米美さんがアメリカのヨセミテ国立公園から、無事カムバックしてきました。聞いたところによりますと、出会った自然や人々から、それはそれはたくさんのエネルギーをいただいてきたということです。また、アメリカの小学生用の環境教育プログラムを実際に体験してきたということで、その辺のお話をスライドを混じえながら聞きたいと思います。水辺とは直接関係はありませんが、環境教育はこれからの時代にとっても必要とされている分野です。会員でない方でも、興味のある方がいたらぜひお誘い合わせの上、ご参加下さい。

期 日：2月13日（土） 13：30～

場 所：新潟市坂井輪公民館407号室

ヨセミテの景色がみたいという方も  
ぜひご参加下さい。

## □インフォメーション

★その1 7月の自然環境復元シンポジウムの特別講演が石城謙吉氏に決まりました。

去年の例会で大熊先生から紹介のあった北大教授・苫小牧演習林長の石城謙吉氏が新潟にいらっしゃることが決定しました。ここ数年、自然環境復元の活動が各地で活発に行われるようになりましたが、石城先生はこの運動の走りとも言える方です。7月がとても楽しみです。

★その2 「ラムサール条約」を学ぶ集会 が開催されます

会員の藤田正さんからお便りをいただきました。「自然ゆたかな鳥屋野潟と都市づくりを進める会」の主催で、講師として岩手大学人文学社会科学部助教授国際環境法専門ラムサールセンター会長の磯崎博司先生を迎え、佐潟・鳥屋野潟などのスライド上映を混じえた学習会です。新潟でも各地でラムサール条約登録指定実現のための動きがなされているとのこと。

□2月21日(日) 13:30~16:30 新潟市中央公民館504号

★その3 環境生活クラブのシンポジウムにご協力下さい。

先月の「水辺だより」にも書いた環境生活クラブのシンポの企画書を同封しました。海のものとも山のものともわからないかもしれませんが、何の力もない市民のものにしたいと、環境生活クラブでは考えています。お金もなく、ネームバリューも無い団体なので、水辺の会の会員の方々の応援、参加をお願いいたします。もし、シンポの裏方を手伝ってもいいなあ・・・と思っただ方は、企画書にある電話番号にt e lするか、もしくは2月7日(日)万代市民会館に午後1時にいらっしゃって下さい。(諸事情でエコ・マークの会で部屋を取ってあります) ※5月2日までに申し込みます。

「新潟の水辺を考える会」〒950-21 新潟市大学南1-7821-5 TEL025(263)2733

☆水辺の会の新年お年玉プレゼント☆

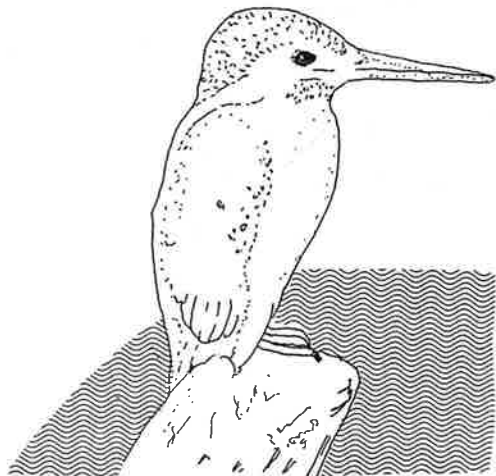
今回のお便りに同封した絵葉書は、『隅田川市民交流実行委員会』会長 島正之氏のご厚意により、水辺の会にいただいたものです。島先生は千葉工業大学助教授で、今年の水郷水都全国会議開催のご挨拶を兼ねられて、年末の忘年会にいらっしゃいました。その縁で、昨年隅田川市民交流実行委員会と画家小野誠一郎さんが去年作成された絵葉書『隅田川八景』を、会員の皆様ということで送って下さいました。この絵葉書は8枚で1組になっています。1組500円で販売しているとのこと。

□ 連絡先：隅田川市民交流実行委員会 03-3872-7441

水辺に親しむ lesson 1

正月に家へ帰って両親と話をしていたら、岩船の荒川の河口にも昭和10~20年頃には、カワセミっていたんだよと言っていました。  
 (水辺の会のシンボルになっている鳥です。)  
 きれいな鳥だったんだけど、いなくなっちゃったねえと。土手がコンクリートになったこととか、川の汚染が原因かねえ…… 【かわせみ】

下の絵は、色を塗ると美しいカワセミに生まれ変わります。色の指定は微妙すぎてできません。各自想像をみ�せし。



【課題1：カワセミ】  
 スズメより少し大きめの青光りする鳥  
 漢字で書くと 川翡翠。

水中に飛びこんで魚を獲る姿を見たいとマラッキー。新鳥ではどいにいるのかなあ。



隅田川八景



# 平成の隅田川八景 絵はがき原画展



## 清流復活の願い込め

「隅田川市民交流実行委員会」（島正之会長）が、今年二月に選定した「平成の隅田川八景」の絵はがきを複製、その原画展が二十八日から松原浅草で始まった。

同実行委員は、隅田川に清流を呼び戻したいと活動する台東、墨田、江東など各地区の市民団体が集まり昭和六十年に発足。活動の一環として、「八景」を選定した。

選ばれたのは、①旧岩淵水門のあらかわ遊園②尾久の原公園③白鷺橋とその周辺④船堀と桜橋⑤リバーピア西妻橋とそこから見える櫻橋、駒形橋、吾妻橋⑥写真の永代橋から見た大川端リバーシティ⑦仙島の町並み⑧の八か所。

委員会では、この八景を

広めるために絵はがきの製作を計画し、イラストレーターの小野誠一郎氏にスケッチを依頼していた。スケッチはいずれも水彩画で、淡い色調で仕上がった。八枚一組五百円で販売する。問い合わせは同委員会（電話3872・7441）へ。

また原画展は来月一日まで。原画を含む小野氏の作品四十点のほかに、隅田川と友好河川の四万十川の写真も展示する。

## 絵はがき「隅田川八景」完成

28日から浅草松屋で原画展

姿容は美しい東京の新しい風景と古い町並みを対比させて記録する葛飾区西新小岩の画家小野誠一郎さん（57）が、隅田川市民交流実行委員会（島正之会長の）一行と一緒に大川の両岸を歩き回りスケッチした「隅田川八景」の絵はがきが完成した。これを記念した原画展が十月二十八日から十一月二日まで浅草松屋三階



もいえる東京橋樑断絶の現状場面（計四十枚）を展示、二十一年の東京を考えてもよい。

また、同実行委員会のスローガン「白魚が泳ぎ、子どもたちが水辺で遊び、泳げる清流隅田川」の参考例として清流四国・四万十川の写真十枚を展示する。

「隅田川八景」の入手方法は、直接、浅草松屋の会場に行くと、葛飾区西新小岩四の三六の三、小野スタジオへ、一組五百円、送料百七十五円を要する。五百円以上は送料無料。純粋は同実行委員会の活動のついでだ。

### 小野 誠一郎

1935年生土浦出身 1958年より東京スケッチ始める 1964年第1回東京スケッチ展・西銀座デパート 全国絵はがきコンクール金賞受賞 東京都「とうきょう広報」「週刊きちじょうじ」「かつしか野」誌表紙絵 朝日新聞「東京ある記」読売新聞「水辺の光景」「バス停散歩」ブルーガイド等挿絵 文化財防火デー ポスター絵・消防庁「Rカレンダー」「東京の市めぐり」絵はがき・郵政省「ザ・ふるさと東京彩画集」（国書刊行会） 個展・グループ展多数  
 現住所 東京都葛飾区西新小岩4-36-3

企画・発売  
 隅田川市民交流実行委員会